別紙2

平成16年度事務事業評価調書（新規用）

北広島市

整理番号	24－9	事務事業名	広島団地駐車場補修事業	作成部署	建設部 建築課住宅管理担当	電話	内線755
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	部長職名	斉藤順二	課長職名	河上雅行	作成日	H16．9月
事務事業開始年度	H17	根拠法令等	公営住宅法				
〃 終了予定年度	H18						
事務事業の概要	現在、広島団地の駐車場は完成してから10年前後経過し、表面が波をうっている状態にある。春の雪解け時や降雨の後には大きな水溜りができ、車の乗り降りにも支障をきたしていることから、補修工事を行う。						

計　画

上位施策との関連（総合計画での位置付け）	総合計画(第1次実施計画)	□ あり ■ なし	
	章	高い都市機能をもち、活力にあふれるまち	（第　5　章）
	節	住宅	（第　2　節）
	施策	公営住宅の整備	（第　1　施策）
目　的（ここから成果指標を導きます）	対　象（誰、又は何を）	市営広島団地に居住する住民及び市営広島団地を訪れる人	
	意　図（何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか）	駐車場舗装面の改良を行い、良好な住環環境を確保する。	
手　段（ここから活動指標を導きます）	市が行う事務事業の具体的な実施内容（※補助金等の場合は団体等の活動内容）	17年度	市営広島団地3号棟前駐車場補修工事（747㎡）
		18年度	市営広島団地2号棟前駐車場補修工事（704㎡）
		19年度	市営広島団地4号棟前駐車場補修工事（901㎡）
		20年度以降	

【費用の予定額】

（単位：千円）

	区　分	17年度	18年度	19年度	20年度以降【毎年】
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	4,275	6,017	4,739	
	①合　計	4,275	6,017	4,739	0
人件費（概算）	②人　数（年間）	0.10	0.10	0.10	
	③1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	④＝②×③	900	900	900	0
総事業費 ①＋④		5,175	6,917	5,639	0

整理番号	24－9

評 価

【事務事業を評価する指標（ものさし）】

指　　標	指　　標(算式)	指　　標　　値			
		17年度目標値	18年度目標値	19年度目標値	最終目標値
活動指標 （事務事業の活動量や実績）	駐車場補修面積	747㎡	704㎡	901㎡	
成果指標 （目的の達成度を測るものさし）	（代替指標）駐車場補修面積	747㎡	704㎡	901㎡	

【1次評価】　担当部局の評価

項　　目	判　定	理由･方法等
市が実施する必要性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	■市が実施すべき事務事業である □民間等への移管は可能であるが当面行政で実施すべきである □民間等で実施すべきである	市営住宅の駐車場の補修整備であり、実施は市がすべきものである。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	■妥当である □概ね妥当である □妥当でない	市営住宅居住者の居住環境向上になり、また駐車場利用者から使用料を徴収しているので補修整備は妥当である。
手段の妥当性 【目的を達成するための手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	■適切である □他の手法がある □民間等への委託等が可能である □民間等への一部委託が可能である	市営住宅及び駐車場を管理しているのが市であるので、この方法が適切であると考える。
受益者負担の必要性 【受益者負担が必要または可能である場合、具体的な方法等を理由等の欄に記入してください】	■受益者負担を求める必要がある □受益者負担を求めることは可能である □受益者負担になじまない	すでに駐車場使用料を徴収している。
事業の有効性 【事務事業の社会的・経済的効果はどの程度ですか。効果の内容を具体的に記入してください】	■十分効果が期待できる □ある程度効果が期待できる □あまり効果が期待できない	補修により駐車場利用者の利便性が向上する。
事業の緊急性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから緊急度はどの程度ですか】	■高い □普通 □低い	すでに、多くの支障をきたしているので早急に実施すべきである。住民要望も強い。

【2次評価】　行財政構造改革推進本部の総合判定

判　　定	今後の方向性等
■実施する □見直しの上で実施する □実施時期を遅らせる □実施について再検討する □実施しない	経営的視点を取り入れて、計画的に修繕していく。